

2010年度「大学院生海外学会発表支援制度」選考結果のお知らせ

選考委員長 外山みどり

標記制度について、学会ホームページを通じ、本年3月31日を期限として募集を行いましたところ、16名の応募がありました。早速、渉外担当常任理事（外山みどり）を委員長とし、相川充（東京学芸大学）、上野徳美（理事：大分大学）、飛田操（福島大学）、結城雅樹（理事：北海道大学）の各氏を委員として選考委員会を構成し、慎重に審議致しました。その結果を踏まえ、常任理事会、理事会の議を経て、以下の5名を支援対象にすることに決定致しましたので、ご報告致します。

支給金額は、前年度通り、航空運賃の半額に、学会開催期間日数×5000円を加算した金額となっております。

なお、支援対象候補者は、本年6月初旬までに常任理事会・理事会の承認を受けて決定し、本人に通知されておりますが、その時点では、発表の採択決定がなされていない学会が含まれておりましたため、全員の発表採択通知が届いた後の公表と致しました。

<支援対象者一覧> (五十音順)

- ・浅野 良輔（名古屋大学大学院 教育発達科学研究科）

発表題目：Effects of relational efficacy on safe haven function and secure base function among romantic relationships and same-sex friendships

発表学会：The 12th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology

学会開催地：サンアントニオ（アメリカ合衆国）

- ・後藤 伸彦（名古屋大学大学院 環境学研究科）

発表題目：Perceived fairness of the ingroup act or concerns for reputations: Determinants for the feeling of collective guilt

発表学会：The 13th Biennial Conference of the International Society for Justice Research

学会開催地：バンフ（カナダ）

- ・塚本 早織（名古屋大学大学院 環境学研究科）

発表題目：The influence of psychological essentialism on inferences about gender category: A case of 'Citizen-Judges'

発表学会：The 12th Annual Meeting of the Society for Personality and Social Psychology

学会開催地：サンアントニオ（アメリカ合衆国）

- ・土屋 耕治（名古屋大学大学院 教育発達科学研究科）

発表題目：Self-regulation and activation of hierarchical goals with feedback changes

発表学会：The 27th International Congress of Applied Psychology

学会開催地：メルボルン（オーストラリア）

- ・福沢 愛（東京大学大学院 人文社会系研究科）

発表題目：Relationship between self-esteem instability and motivation for future task
among Japanese people: How can people with unstable self-esteem be adaptive?

発表学会：The 20th Congress of the International Association for Cross-Cultural
Psychology

学会開催地：メルボルン（オーストラリア）

*発表題目は、応募書類に記載されたもの